

校園長室から



学校教育目標

共に学び共に伸びる子ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令和6年9月27日 第23号

レンガ工場

先日配布しました『朝陽だより』に写真をつけていました。

明治時代の写真。

校区内にあった施設で遊ぶ子どもたちの白黒写真とその施設で働く馬の様子を写した白黒のものを添付しました。

ちょうどその『朝陽だより』が完成し一息ついた瞬間、地域の長老の方が現れ完成した『朝陽だより』を見ながら雑談に。

「その昔、その施設はどこにあったのですか」と聞くと驚くべき返答が。

「大きなゴリラがおった温泉があったやろ。そこや。」

その温泉施設には、大変お世話になりました。

その昔、独身だったころ、いろんな事情で帰れなくなったときに、その温泉へ駆け込み、一風呂浴びて就寝。翌朝は、必死に起きます。なぜなら同伴者が先に起きると、午前7時の窓口開設の瞬間に「〇〇中学校の田中先生を呼び出してください」と声をかけられると、館内高らかに「〇〇中学校の田中先生、お連れ様がお呼びです」とアナウンスされます。それはそれは、恥ずかしいのなんの。それを阻止しなければなりませんから必死になります。

当時の修学旅行の前日は、その温泉で前日の決起集会。修学旅行から帰った後は、そこで反省会。翌朝、駐車場で解散。(無茶苦茶やな)

地域の方に子どもころのその施設の思い出をお伺いすると、地面に人が通れるほどの坑道が掘られ「ちゃんと外を出られるか」と恐怖心をいっばいにしながら探検するのが面白かったと。

温泉は、今パチンコ屋に代わりましたが以前は、本稿のタイトルの施設があったのです。